



平成 29 年 10 月 20 日

各 位

会社名 : 株式会社UKCホールディングス
(コード: 3156 東証第一部)
代表者名: 代表取締役社長 栗田 伸樹
問合せ先: グループ執行役員
経営企画部門長 大澤 剛
(TEL: 03-3491-6575)

サムスングループへのソニー半導体・電子部品の販売終了に関するお知らせ

当社は、当社連結子会社における「サムスングループへのソニー半導体・電子部品の販売」(以下、「当該取引」という)を終了することになりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当該取引の終了に至った経緯

当社連結子会社USC ELECTRONICS (Korea) CO., LTD. (以下、「USC韓国」という)が行っている当該取引について、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社(以下、「ソニー」という)と協議を行った結果、平成29年12月末をもって、当該取引を終了することとなりました。なお、当該取引の終了につきましては、昨年度よりソニーと検討を続けてきたものであり、当社連結子会社のUKC ELECTRONICS (H. K.) CO., LTD. における不適切な会計処理に係る問題とは無関係であります。

2. 当該取引の終了の当社連結業績への影響

①平成29年3月期における当該取引に係る売上高及び売上総利益と連結数値に対する割合

	当該取引に係るもの	連結数値に対する割合
売上高	550 億円	20.1%
売上総利益	9.4 億円	5.9%

②連結業績への影響

USC韓国は12月決算のため、今期連結業績への影響はございませんが、来期以降の連結業績には、通年で影響がございます。

3. 今後の見通し

以下の挽回策により、当該取引の終了に係る来期以降の売上高、利益の減少の影響の軽減、最小化は可能と考えております。

①USC韓国におけるバッテリー事業の拡大

今期は、同事業で30億円程度の売上見込ではありますが、スマートフォン等への本格採用に伴い、来期以降の大幅な売上拡大を目指します。

②その他グループ全体における事業の拡大

半導体及び電子部品事業においては、主力のソニーイメージセンサー等の既存商材とそれを補完する新規製品群により、車載、産業機器等の新規用途向け事業の拡大を加速させるとともに、EMS(電子機器受託

製造サービス)事業の確実な成長を図ります。それに加えて、放送機器事業や非接触ICカード関連(電子マネー端末等)事業により一層の売上、利益の拡大を目指します。

以上